



救われぬ恋心 流星に託して . .
溢れるSilent 星屑と散りばめて . .

あの日 天使が舞い降りた
Secret-memories。

届かないFallen-love。
それは名も無きstory。

こびり付いたシミの様に
刻まれる痣は、

引き裂かれる度、色鮮やかに
何度も息を吹き返す醜い命。

この想い どうか許してと、

裁かれる月下で
melancholicに蹲る、sissyな悲痛。

募る炎は鮮血な流血の痛みへと
崩れ落ちる刹那の砂の城。

何も語らずただ君の中で、
泳ぎ続ける無知なmermaid。

Sadisticに試される/苦しめられるclearなheartを、

夜空に一際瞬く星々さえも嘲るの？

錯乱状態に碎かれる息の根は
暗黒の棺へと招かれる。

二人が壊れる前に
Psychedelicにin the sky . .

止まらない絡め合う糸で
終わらない口付けを交わそう。

このままずっと二人で今go to heaven . .
二度と戻れぬと最後の夜に別れを告げよう。

閉じられる空蟬は静かに溶け行くdarkness。
紅のecstasyは呪う様な狂気な絆で . .

揺らめく霊妙なMoon-lightに照らされ
永遠にGood-night . .